

平成 29 年 8 月 30 日 (水曜日)

足立参院議員

建設の未来確保に予算必要 業界関係者ら励ます会

元国土交通省技監の足立敏之自民党参院議員を「励ます会」が28日、東京都内のホテルで開かれた。所属する宏池会（岸田派）の古賀誠名誉会長や岸田文雄会長（自民政調会長）のほか、建設業界関係者ら多数が出席。昨年7月の選挙で29万超の大量票を得た初当選から2年目に入った国会議員としてのさらなる活躍に期



励ます会であいさつする足立氏。28日夕、東京都千代田区のホテルグランドパレス

待を込めた。足立氏も「政治家として成長するのを見ていただきたい」と応じた。励ます会の発起人を代表して後援会長の陣内孝雄元参院議員があいさつした後、日本建設業連合会（日建連）の山内隆司会長が「国会や党内で存在感を示していただき、建設業界の代表として積極果敢な活動をお願いしたい」、岸田氏が「人を引きつける人柄で、政治家としての魅力と才能を持つ。日本の政治のど真ん中での活躍を祈念する」と期待を表明。自民 I T S 推進・道路調査会長も務める竹下巨自民総務会長は「高速道路網の整備は、国家戦略として取り組まなければ」と述べ、足立氏の力が必要になるとした。古賀

氏は「修羅場と土壇場と正念場を繰り返しながら、国民のための政治を担ってほしい」と激励した。

宏池会所属の現職大臣の林芳正文部科学相、小野寺五典防衛相、上川陽子法務相のほか、同じ建設分野の職域代表の佐藤信秋参院議員もあいさつに立ち、足立氏のこれからの活動にエールを送った。

これらを受けて足立氏は、「国会質問に立ち、災害現場にも出向き、一つずつ勉強している」と述べた上で、「建設関連産業の未来を確保するためにもインフラ整備を一つ一つ進める公共事業予算を確保しなければならぬ」と強調。本年度も「補正予算が必要だ」と訴えた。

その後、前参院議員の脇雅史氏の発声で乾杯し、懇親に移った。励ます会は当初、7月10日の開催を予定していたが、九州北部豪雨の発生を受けて延期していた。